

# たんぽぽぐみ

6月は、おうちの方へ、日頃のありがたの気持ちも伝えるためのプレゼントを作りました。プレゼントを作るのは初めての子どもも多かったと思います。生まれて1年数ヶ月～2歳ちょっとしか経ていない中でのプレゼント制作。何を作ったのか、作ったものを誰かにプレゼントすることを理解するには、まだまだ難しい月齢ではあります。

しかし、「自分かした」ことは、よくわかっていました。作業そのものは楽しんでる子どもたちです。

今回、作ったものは、スワッグです。子どもたちは、フレームの部分にシールを貼りました。

これまでに、あそびの中で何度かシール貼りをしていましたが、経馬免のある子どもや月齢の大きい子どもたちは、次々に様々な大きさのシールを貼っていました。また、貼りたい気持ちはあるけれど、指先を思うように動かさなくて、もどかしい思いをしている子どももいました。指先を使うことは、脳への刺激となり、脳の発達へとつながります。指先を使ったあそびだけでなく、普段の生活の場面でも、できるだけ、たくさん、指先を使いたいと思っています。

また、どんなことも「経馬免」をすることの大切さを改めて感じました。「時間がないから」「できないから」「危ないから」と、つい大人がなんでもしてしまいかちですか。大人がなんでもしてしまうと、「経馬免」や「意欲」をうばってしまうことになります。

大人は先の見通しがあるため、失敗を恐れ、子どもが失敗をしないようにと、先回りをしてしまいかちですか。失敗をする経馬免も大切だと思います。失敗をして、学ぶこともたくさんあると思います。

色々な経馬免をして、嬉しい、楽しい、悲しい、悔しいなど色々な思いをして考え、心をゆきまわられて、大きな力になれるよう、見守りの中で、色々なことを楽しみ、心も身体も大きくなってほしいと思います。

◎おねがい◎

沐浴、タオルを絞ります。ハンカチとタオルもゴムでひとまとめして、専用のカゴに入れておいてください。よろしくお願ひします。



# 6月 しいの実・たんぽぽぐみ クラスだより 2021/6.30

紫陽花が色とりとりと咲き、梅雨だなぁと感じられすが、そんなに雨続きといいたこともなく、夏日も多かった6月。最近では夏に向けて、くちなしの花もとても良い香りを漂わせていますね。これからの季節、こまめに水分をとって体調管理に気をつけて元気に過ごせるようにしていきたいです◎

## しいの実ぐみ

### お散歩大好き!

5月に梅雨入りし、雨が多いかと思っていたのですが、天気の良い日も多く散歩にも沢山出掛けられました。今まではお散歩カーに乗って、と風を感じたり景色を楽しんでいましたが、今日には、今度は円町公園やだるま寺で砂や石の感触を楽しんだり、目的地で探検したり遊びを見つけるということを楽しみました。初めて円町公園へ行き、お散歩カーから降りると「え、？おりにいいの？」と少し戸惑ったような表情を見せる子どもたち。だだ、回数を重ねる度に、少しずつ自分から重くよくなりました。また「四つばい」で移動することも多いしいのみさん。手の平を地面につくと砂や小石が当たります。それを不思議そうに見ています。月夜をついても同じ。むしろ月夜の方が痛いと感じているかもしれませんね。最初は「ゆ、ゆ、ゆ、ゆ...」と、恐る恐る進んでいく姿がかわいくて、大人は「何気なく歩いています」が、子どもたちにと、たら色んな感覚を刺激されている感じがします。

今、楽しく遊んでいるのはだるま寺！最初はお堂に沢山いるだるまにドキドキしました。少し日音いお堂に大きなたるまは子どもたちにはちょっと怖いと感じるかもしれませんが、保育者に抱っこされて安心して見ることが、小さなかわいいだるまを見たりして、少しずつ自分でお堂に近づいてこれるようになってきました。だるま寺はいろいろなお花が咲いてたり、お線香の匂いもしたり、視覚だけでなく嗅覚も刺激されます。砂利を角虫、たり、歩いたり、ひんやり冷たい石を感じたり、五感を沢山刺激される素敵な場所です。もともと回数を重ねていきたいと思っています◎

### えのぐ大好き!

ありがたの日のプレゼントでお渡ししたモデルについて足型もえのぐでやりましたが、音も泣きませんでした!! そしてくまぐる回るオーナメント。1色ずつお皿に入れて渡すと手に色が付き、「オ？たんぽぽぐみ？」と不思議そうに手を見たり、手でえのぐをこねこねしてみたり。紙の上にはハタハタ色をつけること、手や体につくことも抵抗なく楽しめちゃう大胆なしいのみさん。これからの夏、えのぐでたくさん感触あそびを楽しんでいきたいと思っています!!

## みずぐみ

6月。今年は雨も少なく、戸外に出てたくさん身体を動かし、汗を流していた子どもたちでした。散歩に行くと、元気な声で歌を歌いながら歩いています。中でも最近では「はたらくるまの歌」が大人気で歌に出てくる車を見つけては、「あ！タンクローリー」「カーキヤリア」と嬉しそうにしています。また、保育園の近くのお店にツバメの巣があり、卵からヒナが孵っていて顔をのぞかせていたので「かわいい」と言ったり、興味津々でじっと見つめる子どももいました。暑い日には屋上で水遊びもしています。夕ライを出すみんな水を求めて一直線です。顔に水がかかっても平気で全身で水を浴びながら気持ちよさを感じていました。保育者がその様子を見守っていると後ろからそっと近づき、水でぼうや容器で水をかけてくる時もあり、大人も子どももみんなびしょ濡れになって楽しんでます。

### 制作をしたよ

日ごろお世話になっている人たちにありがたのプレゼントを作りました。最初に簡単に説明をしていると「なにをするの?」「やりたい」と興味を持っていました。絵の具を使った制作では、4色の絵の具から好きな色を使っていると色がまじる時に「こんな色になった!」と保育者に教えていました。ひも通しでは、太さの違うストローを一つひとつひもに通していきます。すぐに「出来た!」と言う子どももいましたが、中にはうまくひもを通らずバラバラと床に落ちてしまうこともありました。しかし、保育者が見守る中で一つずつゆっくりとしていき、「出来た」と満足がいくところまで集中していました。また遊びの中にもひも通しやシール貼りなど指先を使った遊びを入れたり、子どもたち自身が「なんだらう?」「やってみたい」と思い、最終「出来た」と思えるような経馬免をいっぱいしてほしいなと思います。

### 自分で考えられるように

子どもたちについて大人が「〜してね」と指示語で声かけをしてしまうことがあります。そうすると子どもが自分で考えて次の行動が出来ないということも出てきます。生活の中で出来るだけ指示の言葉ではなくて、子どもたちが自ら考えて行動できるような言葉がけをしていけたらいいなと思います。子どもの気持ちに共感しながら「どうしたらいいかな?」と聞くことで子どもなりの答えがたんだん返ってくるようになってくるので、その言葉を待ってみることも大切なことだと思います。

